

ウェルビーイングアンケート

土岐市の施策に対する市民の満足度・重要度を把握するとともに、今後10年間で求められる方向性や取組についての意向も把握することを目的として実施しました。

Well-Being 指標の主観データを取るために設定されている調査項目も編成しました。

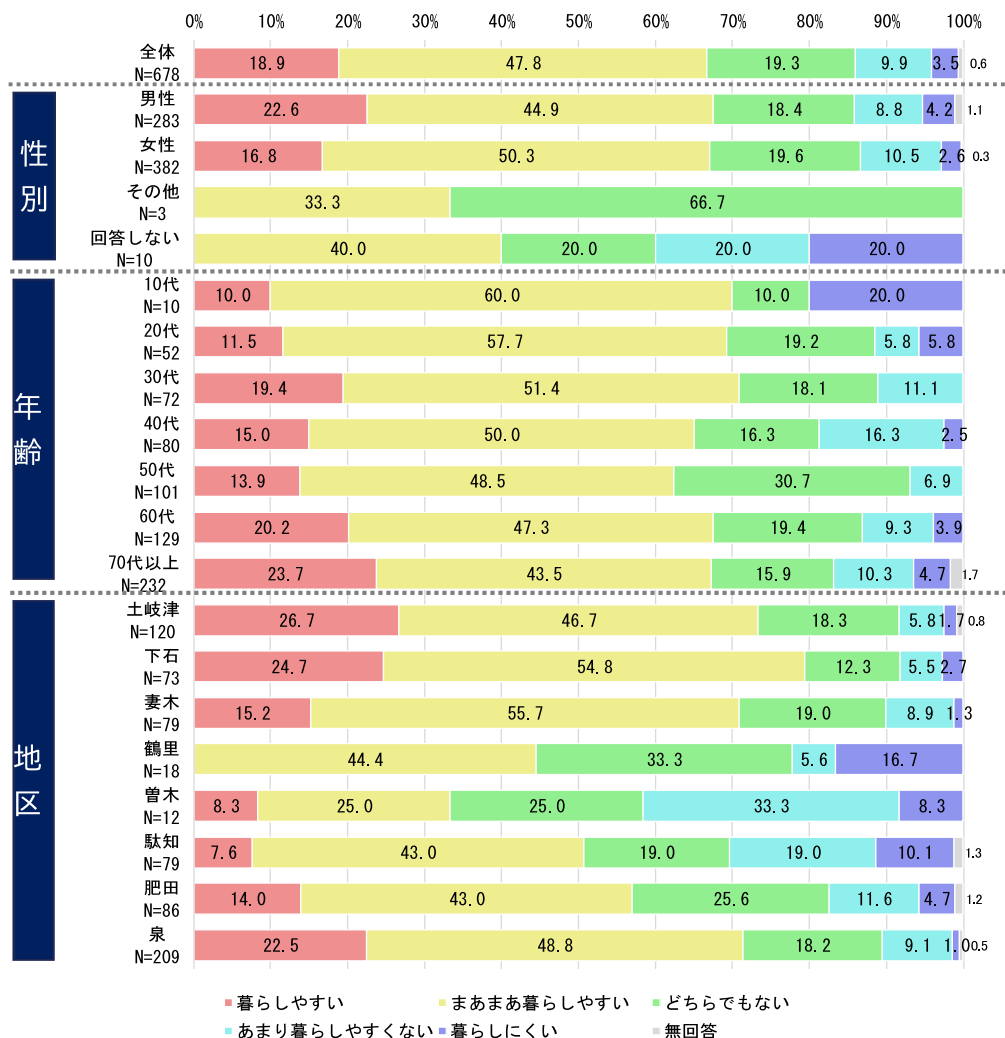
アンケート概要

調査対象	土岐市市民 18 歳以上 (住民基本台帳から無作為抽出)	調査期間	令和 6(2024)年9月 30 日～10月 21 日
配付・回収方法	郵送による配布・回収 オンラインでの回収	配布数	2,000票
		有効票数	680 票
		回収率	34.0%

調査結果(施策評価等)

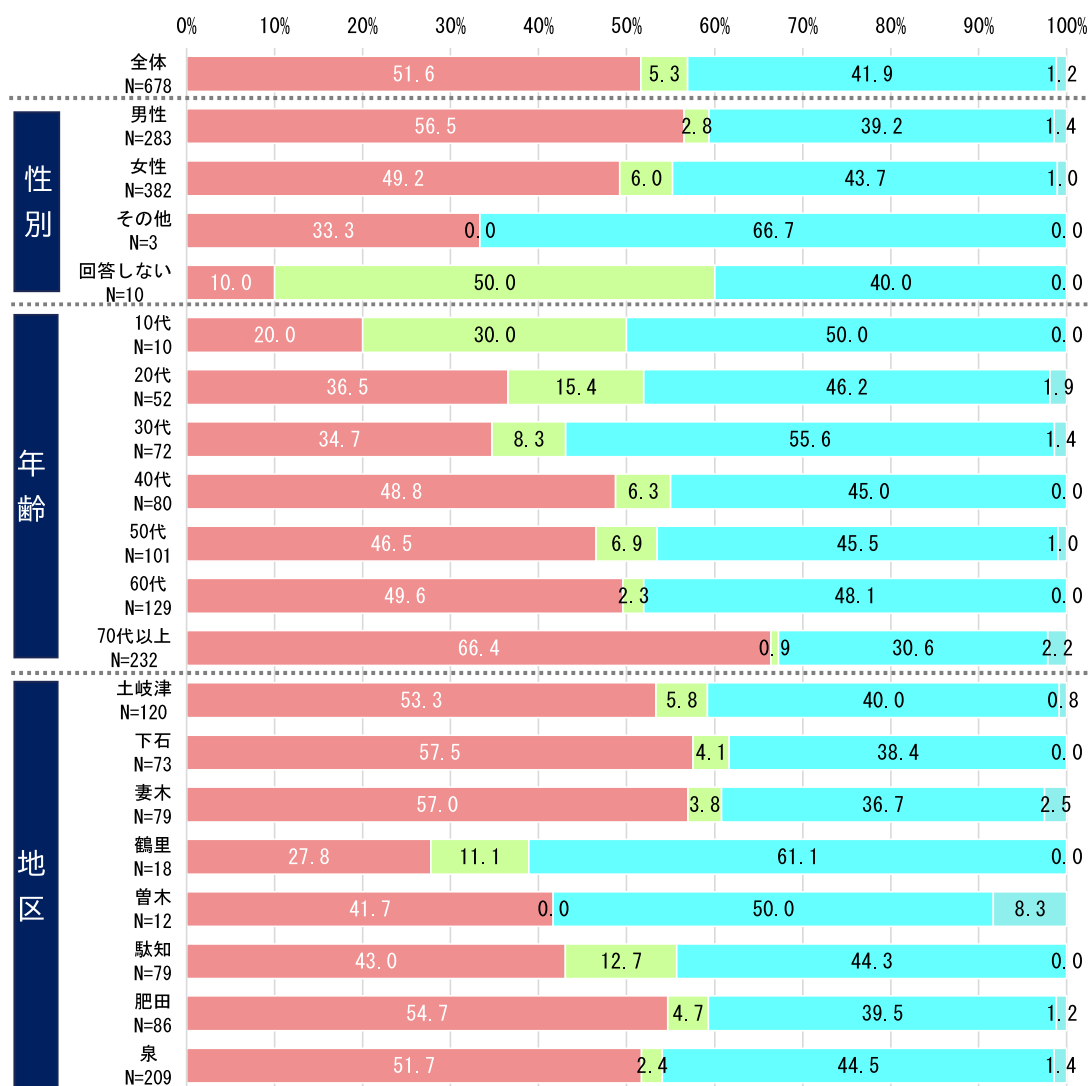
【土岐市は暮らしやすいまちかどうか】

- ・ 暮らしやすい(暮らしやすい+まあまあ暮らしやすい)と感じている割合(66.7%)の方が、暮らしにくい(あまり暮らしやすくない+暮らしにくい)と感じている割合(13.4%)より多くなっています。
- ・ 10代と40代で暮らしにくいと感じている割合が多くなっています。
- ・ 曾木地区、駄知地区で、暮らしにくいと感じている割合が多くなっています。



【今後の市内での居住意向】

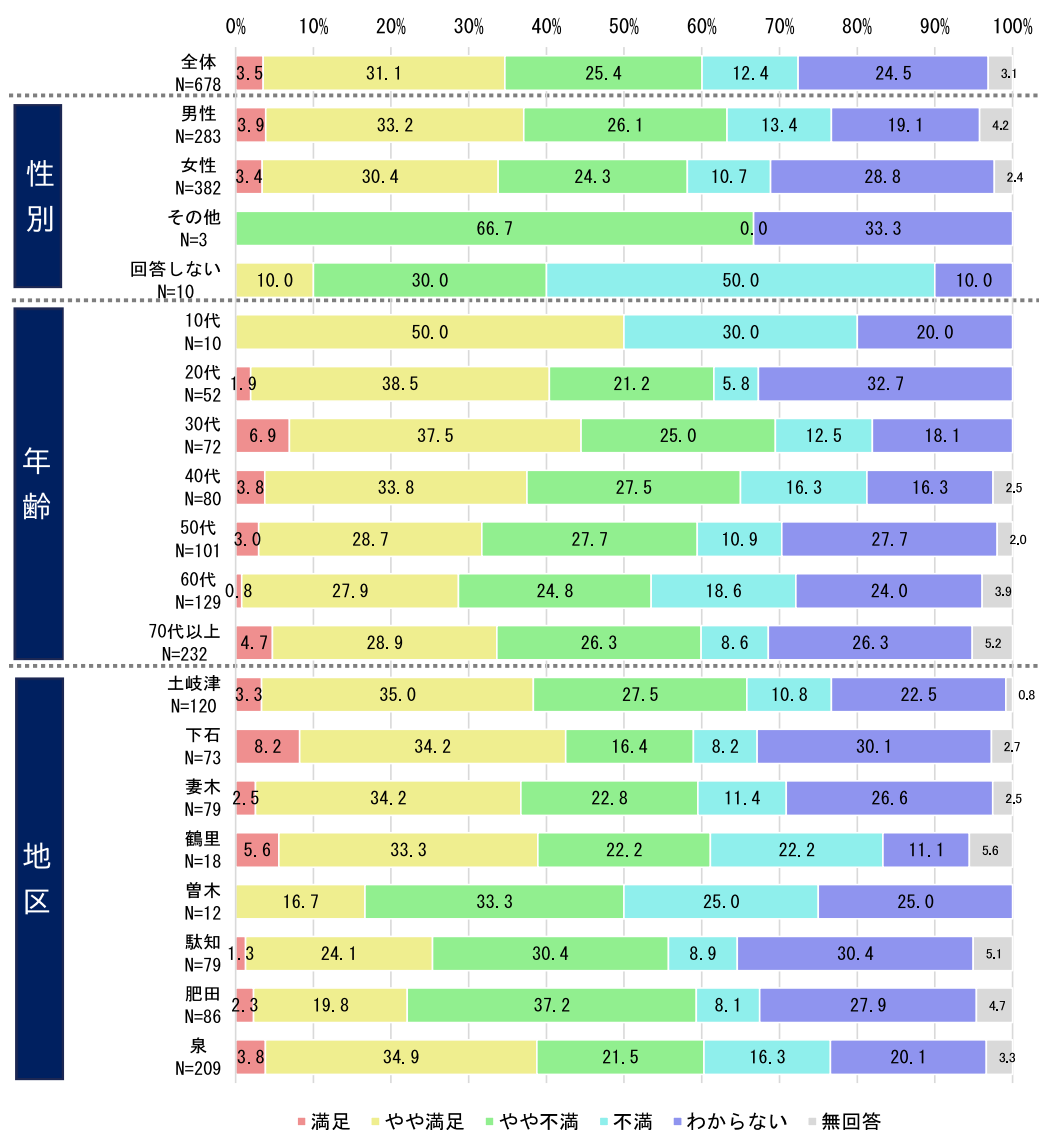
- ・ 今後も土岐市で暮らす意向がある割合は、51.6%となっています。
- ・ 一方で、市外で暮らしたい割合は、5.3%と少ないです。
- ・ 女性よりも男性の方が、今後の居住意向があることがうかがえます。
- ・ 若い世代の方が、転出意向を持っている傾向があり、10代では、市外で暮らしたい割合の方が定住したい割合よりも多くなっています。



- ずっと土岐市で暮らしたい (いったん市外に出ても土岐市に戻ってきたい場合を含む)
- 市外で暮らしたい
- 何ともいえない (わからない)
- 無回答

【土岐市の取組への満足度】

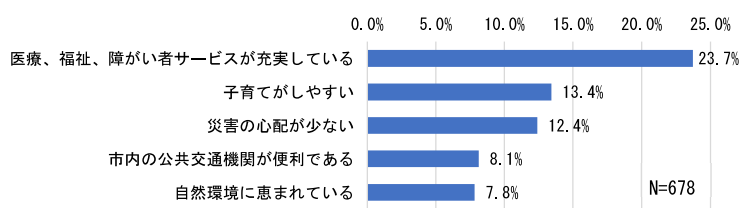
- ・ 全体では、満足している割合(満足とやや満足を合算)は、34.6%となっており、不満足
の割合(やや不満と不満を合算)は37.8%となっています。不満足の割合が満足を
3.2ポイント上回っています。
- ・ 30代から60代まで、年齢が上がるにつれ、満足している割合が減少しています。
- ・ 地区別では、曽木地区、肥田地区で満足の割合が少なくなっています。



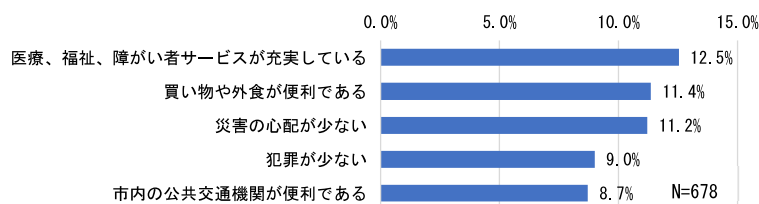
【重要だと思うこと/その満足度】

- 重要だと思うこととして、意見が多かったのは、「医療・福祉」、「災害」、「公共交通」等でした。その他には、「買い物や外食場所」や「犯罪が少ないこと」等が上位に挙がっています。
- 重要と思う項目について、現状の満足度は、以下のようになっています。
 - 医療、福祉、障がい者サービスが充実している……満足度は低い
 - 災害の心配が少ない……満足度は高い
 - 市内の公共交通機関が便利である……満足度は低い

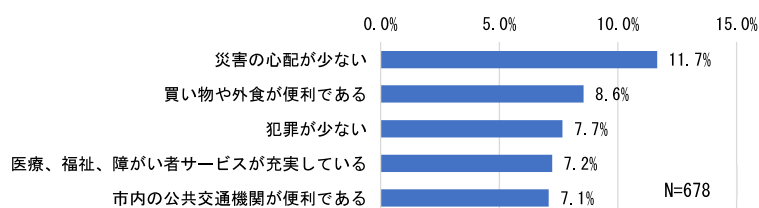
【1位】重要だと思うこと(重要度上位を抜粋)



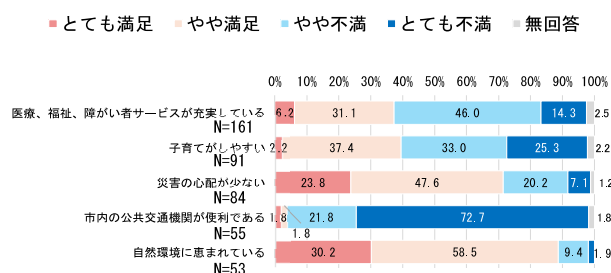
【2位】重要だと思うこと(重要度上位を抜粋)



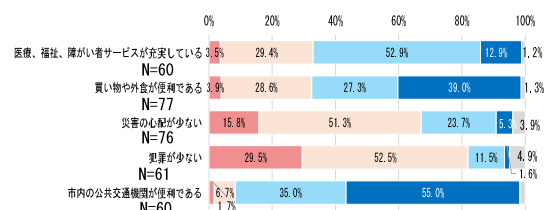
【3位】重要だと思うこと(重要度上位を抜粋)



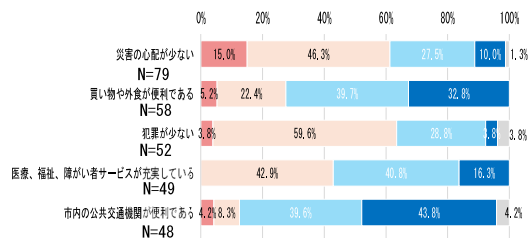
満足度(重要度上位の満足度を抜粋)



満足度(重要度上位の満足度を抜粋)



満足度(重要度上位の満足度を抜粋)



ウェルビーイング指標(主観データ)

- ・ 地域幸福度(Well-Being)指標とは、客観指標と主観指標のデータをバランスよく活用し、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感(Well-being)」を指標で数値化・可視化したものです。
- ・ アンケート調査結果の一部をデジタル庁が示している「地域幸福度 Well-Being 指標」を測るシステムに登録し、現在の土岐市の状況を可視化しました。
- ・ 土岐市が実施したアンケート調査は、主観指標になります。(市民の幸福感を算出)
- ・ 客観指標は、各種統計データ等から算出された数値です。(くらしやすさの測定)

ウェルビーイング指標とは

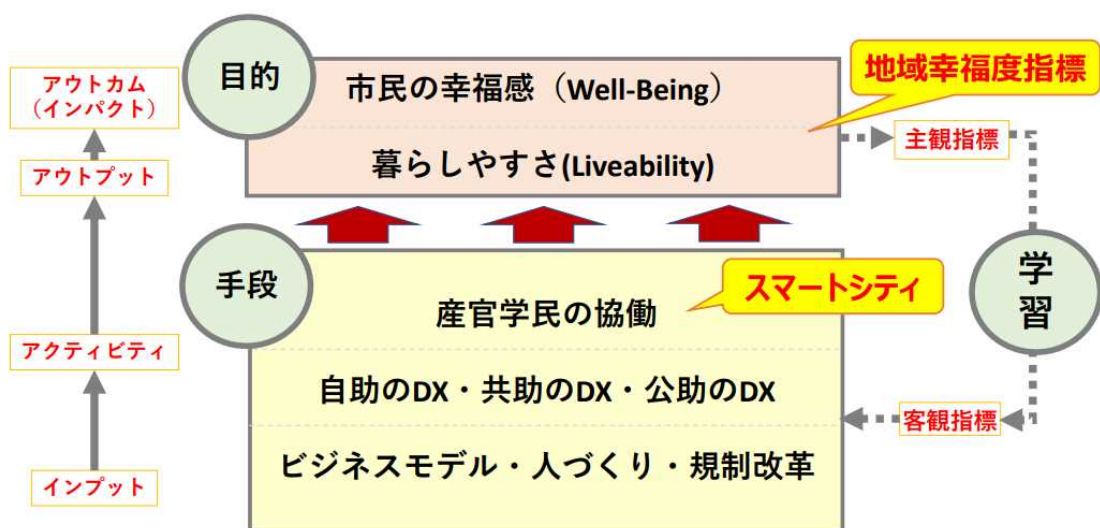
- ・ これまで、国はデジタル技術を活用した「スマートシティ・まちづくり」を進めてきましたが、個々の事業のデジタル化の手法やインフラの議論に偏りがちでした。
- ・ 市民一人ひとりがデジタル化によって生活にどのような豊かさが生まれるのか、十分に理解されておらず、利用しない、利用できない市民もいます。
- ・ 「スマートシティ・まちづくり」の本来目指すところは、市民の幸福感つまり Well-being の向上



スマートシティ・まちづくりにおける「人間中心主義」を明確化

- ・ 第七次土岐市総合計画では、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を包含した計画とすることからも、この国の方向性に従い、市民の幸福感(Well-being)の向上を主軸に置いてデジタル技術の活用を推進しながらまちづくりを推進したいと考えます。
- ・ Well-being 指標を活用し、データ(根拠)に基づいた政策立案・検証や、政策効果が乏しい歳出から政策効果の高い歳出への転換に活用します。
- ・ 土岐市の現況や特徴を知るために、主観指標は経年で比較し、客観指標では、分野間で比較し、土岐市の特徴を把握します。

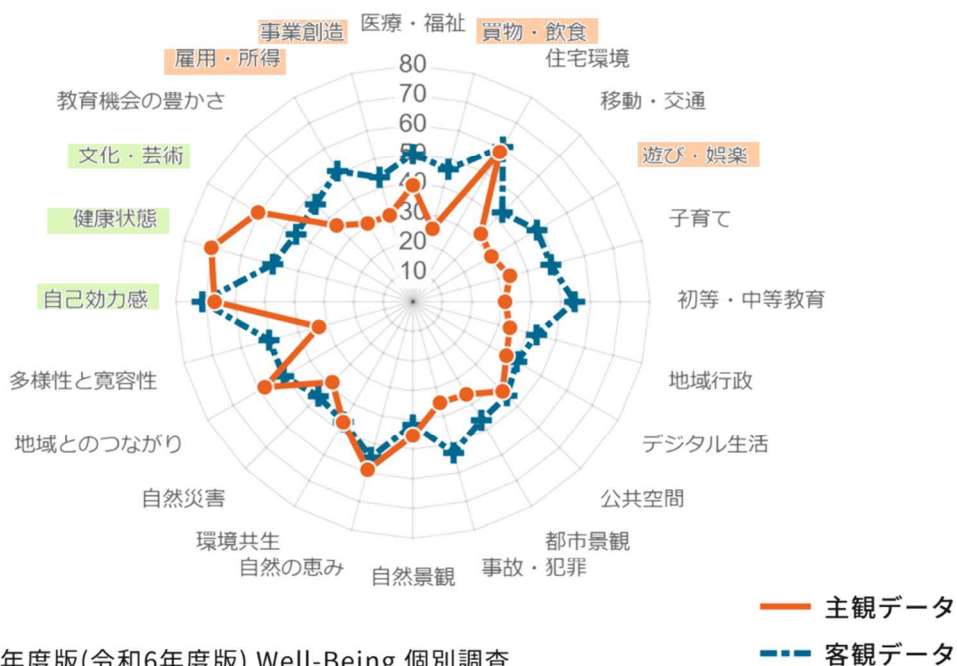
- **地域幸福度指標を用いる事で、各地域において取り組まれる施策を「手段」として、そのアウトプットとそこから導かれるアウトカム（インパクト）を測定することが可能になります。**



各分野における、市民幸福感(主観データ)とくらしやすさ(客観データ)

- ・ 主観データで低い指標は、「買物・飲食」25.5、「事業創造」30.2、「雇用・所得」30.5、「遊び・娯楽」30.6 等となっています。
- ・ 主観データで高い指標は、「健康状態」70.4、「自己効力感」66.9「文化・芸術」60.3 等となっています。
- ・ 主観データと客観データを比較すると、「初等・中等教育」「買い物・飲食」「雇用・所得」「健康状態」の差が大きくなっています。

カテゴリー別



【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 個別調査

各分野における、市民幸福感(主観データ)とくらしやすさ(客観データ)一覧

- ・ 幸福感につながる因子は24のカテゴリで分類されています。
- ・ 因子は、大きく3つの因子群「生活環境」「地域の人間関係」「自分らしい生き方」でまとめられています。
- ・ 各カテゴリの主観データは、アンケートの調査項目を設定しています。
- ・ 各カテゴリの客観データは、KPIを設定しています。

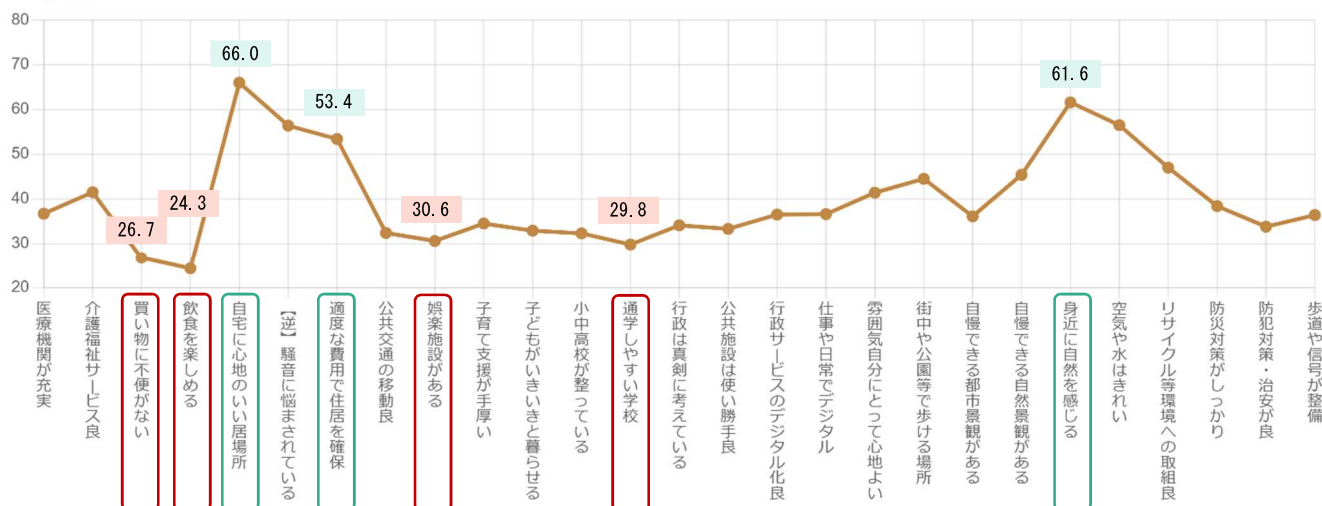
因子群	カテゴリ	主観データ	客観データ	主客の差
生活環境	医療・福祉	39.3	50.0	-10.7
生活環境	買物・飲食	25.5	46.3	-20.8
生活環境	住宅環境	58.6	60.7	-2.1
生活環境	移動・交通	32.4	42.7	-10.3
生活環境	遊び・娯楽	30.6	48.3	-17.7
生活環境	子育て	33.9	48.2	-14.3
生活環境	初等・中等教育	31.1	54.6	-23.5
生活環境	地域行政	33.9	43.2	-9.3
生活環境	デジタル生活	36.4	40.5	-4.1
生活環境	公共空間	42.8	44.9	-2.1
生活環境	都市景観	36.1	46.2	-10.1
生活環境	事故・犯罪	35.3	53.1	-17.8
生活環境	自然景観	45.4	41.6	3.8
生活環境	自然の恵み	59.0	54.7	4.3
生活環境	環境共生	47.0	46.9	0.1
生活環境	自然災害	38.4	45.1	-6.7
地域の人間関係	地域とのつながり	57.7	50.3	7.4
地域の人間関係	多様性と寛容性	32.8	50.2	-17.4
自分らしい生き方	自己効力感	66.9	71.1	-4.2
自分らしい生き方	健康状態	70.4	48.9	21.5
自分らしい生き方	文化・芸術	60.3	45.5	14.8
自分らしい生き方	教育機会の豊かさ	36.4	46.5	-10.1
自分らしい生き方	雇用・所得	30.5	50.9	-20.4
自分らしい生き方	事業創造	30.2	43.5	-13.3

・調査結果詳細 アンケート調査項目から得た結果※因子と設問は1対1ではありません。

【生活環境に関する調査】

- ・「買い物」や「飲食」、「通学しやすい学校」に対しての数値が低くなっています。
- ・「自宅に心地のいい居場所」「適度な費用で住居を確保」「身近に自然を感じる」等の数値が高くなっています。

生活環境



【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 個別調査

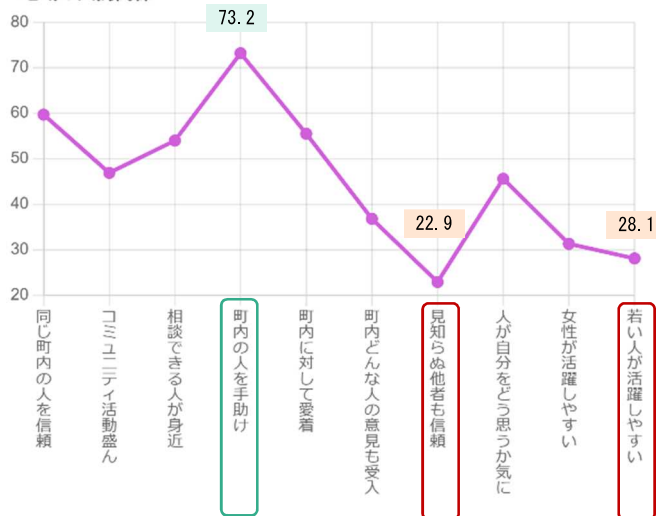
【地域の人間関係に関する調査】

- ・町内の人を助けたり、相談するといった地域との関りに関する項目は高い傾向にあります。見知らぬ他者や若い人、女性等多様な人が交流・活躍する項目は低くなっています。

【自分らしい生き方】

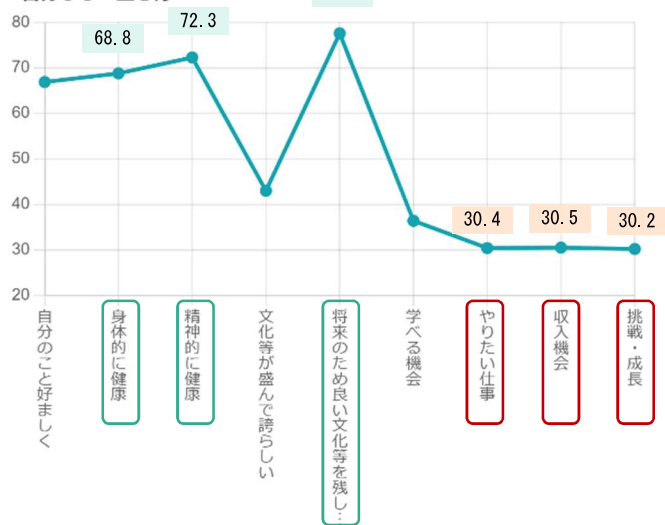
- ・心身ともに健康状態と感じている傾向があります。
- ・文化が盛んとはあまり感じていないものの、未来に繋いでいきたいと考える項目は高くなっています。
- ・学びや仕事に関する項目は、低い傾向となっています。

地域の人間関係



【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 個別調査

自分らしい生き方



【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 個別調査